

羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園に係る意見交換会の実施結果について

1 意見交換会の実施目的

羽田空港跡地第1ゾーンの都市計画公園整備・運営に係る基本計画作成に向けた基礎的な資料活用とすることを目的とし、全3回にわたって意見交換会を実施した。

2 出席者数

第1回：32名

第2回：29名

第3回：27名

3 意見交換会の概要

参加者を6グループに分け、以下の内容で意見交換を行った。

第1回：公園予定地がどのような場所にあるのかを知り、具体的にどのような公園利用者がいるのかを想像する。

第2回：第1回に設定した公園利用者になりきって、それぞれが同時に公園を利用した場合をイメージし、その時にどのようなことが起こるのか、良いことや課題を考える。

第3回：第1回、第2回の結果を踏まえて、必要と思われる施設の具体的な公園施設配置案（公園レイアウト）を作成し、みんなが楽しく公園を利用できるような使い方や課題の解決策について取りまとめる。とりまとめた成果は、同日にグループごとに発表を行った。

各回の概要についてニュースレター（別紙）にて取りまとめた。

4 その他

7月17日に予定していた成果発表会は緊急事態宣言発出に伴い、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。



意見交換会 ニュースレター

発行元：大田区空港まちづくり本部
発行日：令和3年6月12日



羽田空港跡地第1ゾーンの公園に関する意見交換会

大田区は、羽田空港跡地のまちづくりの一環として羽田空港・多摩川のそばに新しく整備する公園について、ご利用になる皆さまからご意見をいただいております。みんなが使いたくなる公園にするためにはどうしたらよいかを、公募によりお集まりいただいた皆さんが意見を出し合う、意見交換会の第1回目を開催しました。



意見交換会のねらい



第1回

令和3年5月22日(土)
9時30分～12時30分
どんな利用者が
いるだろう？

第1回では、公園予定地がどのような場所にあるのかを知り、具体的にどのような公園利用者（主人公）がいるのかを想像します。

第2回

令和3年6月12日(土)
9時30分～12時30分
ストーリー(物語)を
イメージしよう

第2回では、第1回で想像した主人公になりきって、それぞれの主人公が同時に公園を利用した場面をイメージしてもらい（ロールプレイング・ゲーム）、その時にどのようなことが起こるのか、良いことも悪いことも含めて考えていただきます。

第3回

令和3年6月26日(土)
9時30分～12時30分
必要なレイアウトと
使い方を考えよう

第3回では、第2回を踏まえて、みんなが主人公になれるようにするために、必要な公園のレイアウトや使い方を考えます。



成果発表会

令和3年7月17日(土)
午前中(予定)

この3回の意見交換会を通して、みんなが使いたくなる公園の未来像をつくり、その内容を成果発表会でグループ毎に発表していただく予定です。



開催概要（第1回）

日時：令和3年5月22日(土) 9時30分～12時30分
テーマ：『どんな利用者がいるだろう？』
ねらい：多様な公園利用者を想像する
場所：大田区産業プラザPiO
参加人数：32名（6グループに分かれて話し合ってもらいました）

コロナ感染対策を実施し、参加者の安全に配慮して開催しております！

<対策内容>

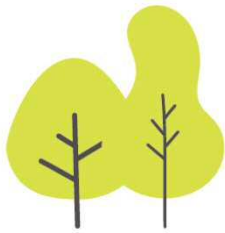
- ・マスク着用、手指消毒の徹底
- ・体温計測を実施
- ・密を避けるため、各グループが独立した部屋で意見交換を実施
- ・参加者同士の接触を避けるため、デジタルホワイトボードツールを使用
- ・アクリル板の設置
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・常時、部屋の換気



区のHPにも、
ニュースレターを
掲載しております。

裏面につづきます

実施概要（第1回）



プログラム

- ・アイスブレイク（自己紹介）
- ・羽田空港跡地の歴史や立地特性など、現地の公園概要を区から説明
- ・**主人公（公園利用者）を想像し、意見交換**
- ・まとめの発表

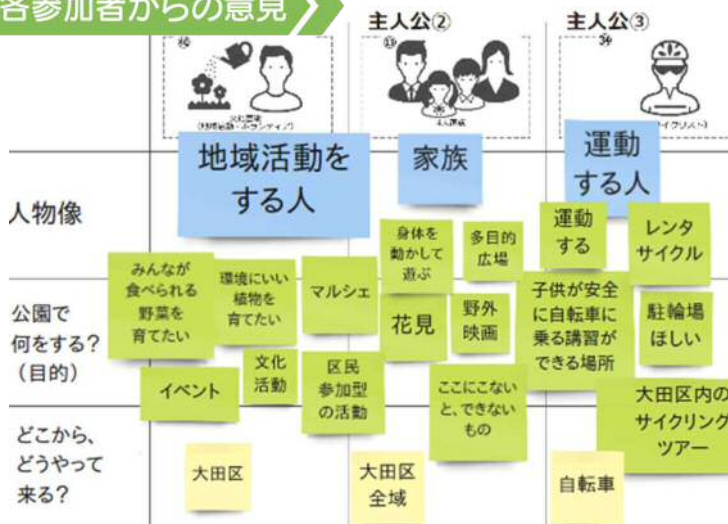


まず、多くの利用者が楽しめる公園を考えるために、各参加者は公園を使う「主人公」のイメージを深めていきました。どのような利用者がいるのか、どのような目的でどこから来るのか、公園の利用時間帯（曜日・時間）や頻度はどのくらいかなど、使い手の気持ちになって想像してもらいました。

意見交換の様子



各参加者からの意見



次に、各参加者の意見をホワイトボードに列挙していきました。「家族で花を見に来る」、「イベントを楽しむ」、「子どもが自転車講習を受ける」など、多様な主人公があげられました。

※左図のように、パソコン上で意見を付箋に入力してホワイトボードに並べました。さらに、6部屋をオンラインでつなぐことで、全グループで意見を共有しました。

最最後に、1グループにつき6人の主人公を設定し、グループ内で考えた主人公像について全体発表をしてもらいました。その様子をオンラインでつなぎ、全ての部屋の参加者が共有できました。様々な年代や職業の方が、1つのテーマについて率直かつ積極的に意見交換していただいたことで、相互の親睦も深まりつつあります。

発表の様子



次回予告

第2回意見交換会では、第1回に各グループで設定した6人の主人公について、ロールプレイング・ゲームを通じて、公園利用のイメージを膨らませていきます。



意見交換会 ニュースレター

発行元：大田区空港まちづくり本部
発行日：令和3年6月26日



大田区は、羽田空港跡地のまちづくりの一環として羽田空港・多摩川のそばに新しく整備する公園について、ご利用になる皆さまからご意見をいただいております。みんなが使いたくなる公園にするためにはどうしたらよいかを、公募によりお集まりいただいた皆さんが意見を出し合う、意見交換会の第2回目を開催しました。



第1回の振り返り

第1回では、多くの利用者が楽しめる公園を考えるために公園予定地がどのような場所にあるのかわかり、具体的にどのような公園利用者（主人公）がいるのかを想像して意見交換をしました。多くのアイデアの中から、第2回に向けて、各グループ6人の主人公を設定しました。

第2回 意見交換会のねらい

第1回で設定した主人公（公園利用者）になりきって、それぞれの主人公が同時に公園を利用するシチュエーションをロールプレイング・ゲームによって体験的にイメージし、どのようなことが起こるのか、良いことも悪いことも含めて考える。

開催概要

日時：令和3年6月12日（土） 9時30分～12時30分
テーマ：『ストーリー（物語）をイメージしよう』
ねらい：6人の主人公が集まった時にどのような公園利用となるか想像する
場所：大田区産業プラザPiO
参加人数：29名（6グループに分かれて話し合ってもらいました）

コロナ感染対策を実施し、参加者の安全に配慮して開催しております！

<対策内容>

- ・マスク着用、手指消毒の徹底 ・体温計測を実施
- ・密を避けるため、各グループが独立した部屋で意見交換を実施
- ・参加者同士の接触を避けるため、デジタルホワイトボードツールを使用
- ・アクリル板の設置 ・ソーシャルディスタンスの確保 ・常時、部屋の換気



区のHPにも、
ニュースレターを
掲載しております。

プログラム

- ・ウォームアップ（新しくできる公園で自分がしてみたいこと・理想的な公園）
- ・**第1回意見交換会の振り返り、6人の主人公と担当するプレイヤーの決定**
- ・**ロールプレイング・ゲーム**

6人の主人公（公園利用者）の深堀り

それぞれの主人公が公園でしてみたいことや、そのために欲しいものについて意見交換

主人公（公園利用者）が公園で出会ったときに何が起こるか

「良いこと」や「悪いこと（課題）」を想像し、意見交換

- ・まとめの発表

※ロールプレイング・ゲームでは、出席者が主人公になりきって、自分とは異なるキャラクターを演じてもらいました。



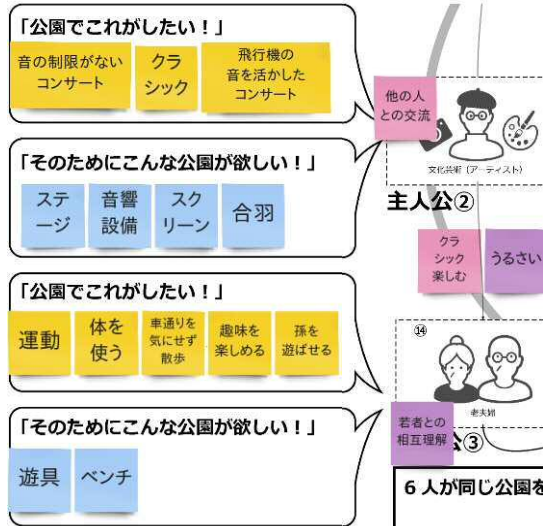
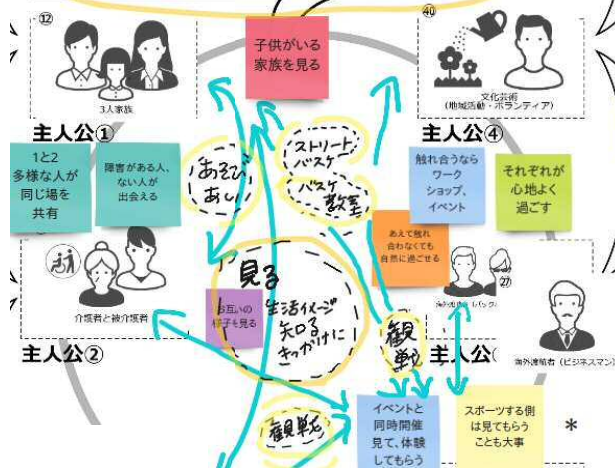
裏面につづきます

実施概要



まず、公園利用のイメージを深めるため、主人公を6人に絞り込み、それを担当する方を決定しました。ロールプレイング・ゲームにおいて、出席者自らの立場とは異なる役割を演じることを通じて、どのような活動をするのか、またそのために欲しいものをイメージしました。そこから、「24時間開放された公園」、「飛行機の音を活かしたコンサート」など多様なアイデアや活動があげられました。

6人が同じ公園を使うことで生まれる「良いこと」
 それぞれの主人公の活動が見えることで、異なる立場の人の存在を知ることができる。
 ⇒無理に交流の機会をつくるのではなく、それぞれの活動を緩やかに共有できる空間、空間の共有
 立場の違う人同士の出会い、ふれあい(遊び合い、イベント、観戦、教室、など)



次に、6人の主人公が公園で出会った時に何が起るのか、話し合いました。良いこととしては、「多様な人々が交流し、刺激を受ける」、「人が集まることで安全・安心を得られる」など、人と人が公園で会うことで生まれる相乗効果があげられました。課題としては、「利用ルールをみんなが守る仕組みづくり」、「スポーツをする際の周囲の安全確保」、「エリア分けと交流を生む環境づくりの両立」などがあげられました。

最後に、グループ毎に全体発表をしました。主人公により、公園に対する要望や期待が異なることを理解し、一緒に利用する際に生じる「良いこと」と「課題」に気づきが生まれました。2回目ということもあり、皆さんリラックスして、積極的な意見交換が行われました。

意見交換の様子



現地見学会開催

意見交換会終了後、希望者(20名)が現地を訪れました。公園予定地の広さや空港、多摩川に隣接していることを実感。思い思いに写真を撮るなど、公園イメージを膨らませました。



次回予告



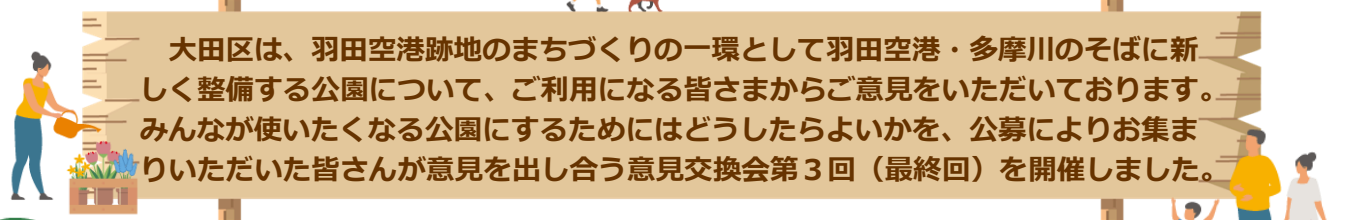
第3回意見交換会では、これまで想像してきた多様な主人公が、公園で楽しい時間を過ごすために必要なレイアウトや使い方を考えます。





意見交換会 ニュースレター

発行元：大田区空港まちづくり本部
発行日：令和3年7月12日



第2回の振り返り

第1回で設定した主人公（公園利用者）になりきる、ロールプレイング・ゲームを実施。それぞれの主人公が同時に公園を利用するシチュエーションを体験的にイメージしました。人々が会うことによる相乗効果や、ルールをつくり、守るための仕組みづくりなどの課題に気づきました。

第3回 意見交換会のねらい

第2回でまとめた「公園でしたいこと・そのために欲しいもの」、「6人の主人公が同じ公園を使うことで起きる良いこと・悪いこと」をもとに、必要と思われる施設の具体的な配置案を作成し、みんなが楽しく利用できるようにするための使い方について考える。

開催概要

日時：令和3年6月26日（土） 9時30分～12時30分
テーマ：『必要なレイアウトと使い方を考えよう』
ねらい：みんなが主人公になれるようにするために、必要な公園のレイアウトや使い方を考える
場所：大田区産業プラザPiO
参加人数：27名（6グループに分かれて話し合ってもらいました）

コロナ感染対策を実施し、参加者の安全に配慮して開催しております！
<対策内容>

- ・マスク着用、手指消毒の徹底 ・体温計測を実施
- ・密を避けるため、各グループが独立した部屋で意見交換を実施
- ・参加者同士の接触を避けるため、デジタルホワイトボードツールを使用
- ・アクリル板の設置 ・ソーシャルディスタンスの確保 ・常時、部屋の換気



区のHPにも、
ニュースレターを
掲載しております。

プログラム

- ・第2回意見交換会の振り返り
- ・**公園をつくってみよう！ ～6人が主人公になれる公園を考える～**
6人の主人公が公園を利用するために必要なものをイメージしながら、白地図とスケールカードを使って、公園のレイアウトを考える
- ・**使い方を考えよう！ ～みんなが楽しく使うために～**
みんなが同じ公園を使うことで起きる「良いこと」と「課題」をもとに、楽しく、満足できる使い方や仕組みを考える
- ・まとめの発表

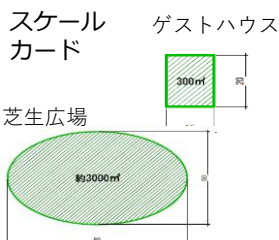
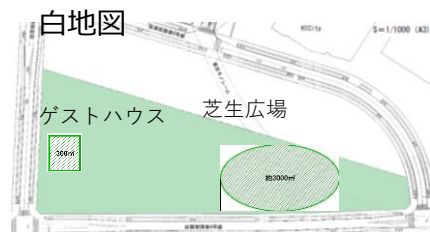




実施概要



まず、第2回で考えた「6人の主人公がしたいこと、欲しいもの」のなかから、各出席者がスケールカードを参考に、公園に必要な施設を白地図にレイアウトしました。「芝生広場」、「イベントステージ」、「展望ゲストハウス」など、思い思いに様々なものを置くなかで、2haという限られた公園面積にどのように収めるか試行錯誤しました。



※スケールカード：芝生広場などを公園白地図の縮尺に合わせて用意したもの。

次に、「6人の主人公が同じ公園を使うことで起きる良いこと・悪いこと」をもとに、グループでレイアウトをまとめました。各々の思いをすり合わせることで、気づかなかった視点を発見し、全員が満足できる公園とするにはどうすればよいか、意見交換を重ねました。「海外渡航者と地域の人々が出会う空港近接ならではの交流スペースを設置」、「キッズ、球技等のスペースを離す」、「お互いが尊重し合って利用できる公園」など、実際の利用シーンをイメージした意見がまとめられました。



更に、レイアウトした公園を使いやすくするため、使い方の工夫や仕組みを考えました。



- 複数の使い方：普段はイベントやキャンプ、非常時は防災に使える広場や遊具、ベンチ
- 子どもも大人も楽しめる工夫：球技専用スペースは、日中は子ども、夜は大人が利用
- 利用者が関わる仕組み：利用者参加型の公園運営組織を設置し、多様な意見を取り入れる仕組みづくり

最後に、全員が一堂に会しました。グループごとに、思いを込めた公園名称やグループ名を披露し、レイアウトや施設の配置案、おすすめのポイント、使い方の提案などを発表しました。

いずれのグループも特色のある内容で、かつ発表にあたっては、複数メンバーで行うグループもあり、発表ごとに盛大な拍手が送られ、終始温かい雰囲気でした。



全3回の成果はグループごとにポスターとしてまとめ、**成果発表会（7月17日）**で発表します。

